

ITビジネスモデル委員会報告 2017年度11月

株式会社オプティム

「第四次産業革命にむけて」

講師 執行役員 山本大祐 様

2017/11/22(水) オプティム本社にて

プレゼン内容のポイント

1. 今回はオプティム様の新しい取組について、執行役員の山本様からお話を頂いた

Ai・IoT・Robot・BigDataを使った既存産業の再構築による大変革時代に関してオプティム様の事例を学んだ。

農業分野では、新たにAI・IoT・ドローンによるピンポイント農薬散布テクノロジーの成功を元にスマート農業アライアンスの取組。

建設分野では、10月にIoTを用いて建設生産プロセスの変革を加速させるオープンプラットフォーム「LANDLOG」の企画・運用を行う、ランドログを小松製作所NTTドコモ、SAPジャパンと共に設立。

医療分野では、佐賀大学と臨床画像データをAIで画像解析する取組。

に関して伺った。

感想

□IoT OSについては、まさに今後に必要なデバイス管理やそのうえでのシステムプラットフォームなど次の時代を感じました。また、大学などと取組んでいる新しい取組は、画像認識やディブラーニングを使った様々な取り組みは素晴らしいと感じます。次の時代に向けた取り組みでとても為になりました。

□AIを実務に利用したビジネス事例は参考になった。

□具体的で大変参考になりました。

□オプティム様のAI、IoT、BigDateの取組、ディブラーニングのカバレッジなど非常に解り易かったです。

□ビジネス創設から収支モデルの作成期間がとても短く関心しました。

□AIを活用した多言語サービスなどはやっていますが、製造業向けのサービスに興味があります。

企画テーマ創出のやり方に興味を引きました。

150名でこのビジネスを立ち上げていることに驚きました。

□オプティム様の取組がよく理解出来た。

編集後記

今回は「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げて取り組まれている
オプティム様より第四次産業革命にむけての取組を伺った。

会社概要ではIoTプラットフォームサービスは、「Optimal Biz」が引き続きライセンス数を伸ばして市場シェアNo.1を維持。

IoT時代に最適化された新型OS「OPTiM Cloud IoT OS」では、積極投資を進め、新たに故障予知、AIコールセンターソリューション、危険検知など6つのサービスを開始し、各業界の課題解決に努められている。

AI、IoTの事例紹介では農業分野、建設分野、医療分野、水産分野に関して最新の取り組み事例をご紹介します。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

<http://www.jcssaa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>